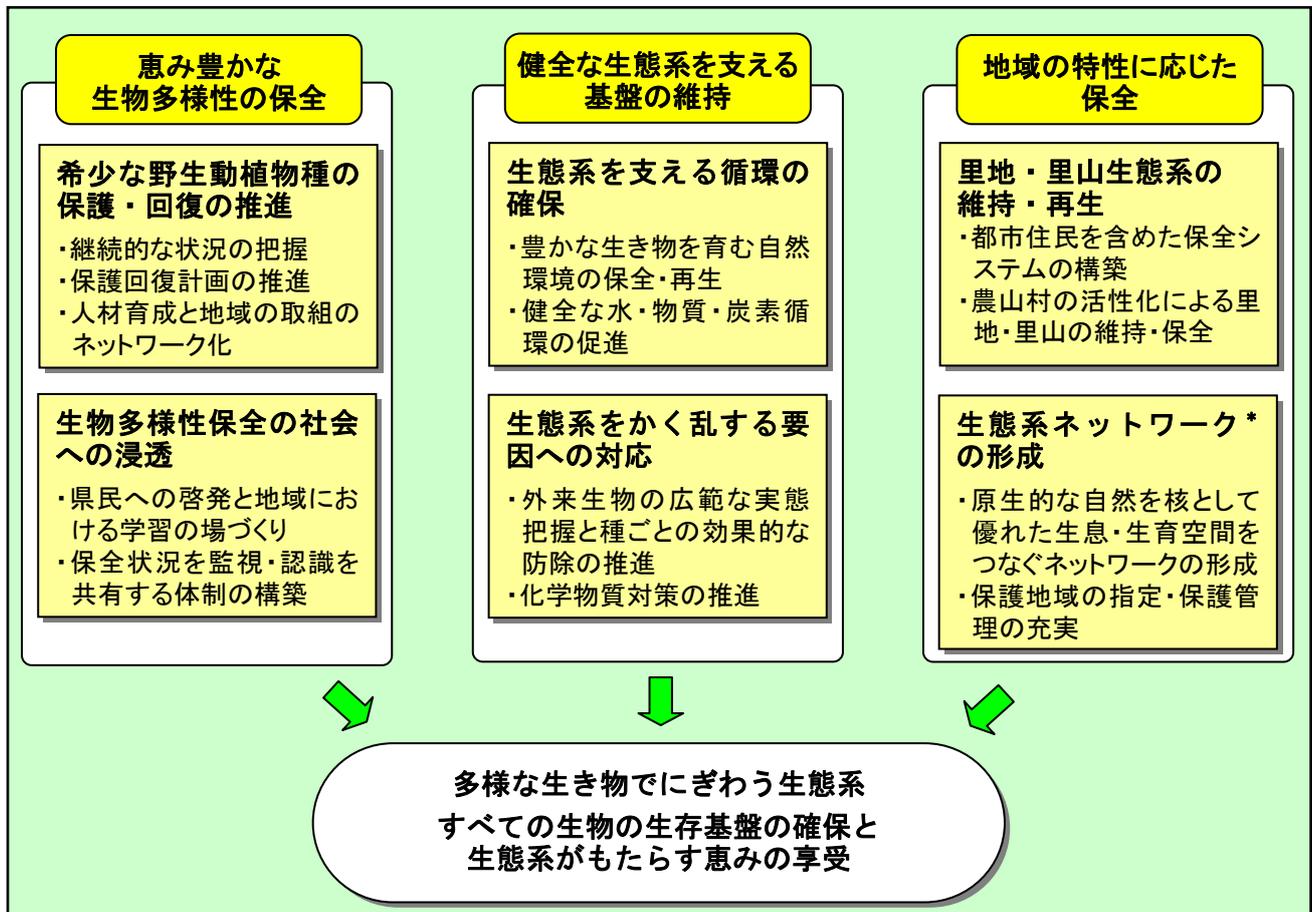


豊かな生態系の保全・再生プロジェクト

このテーマのねらい

人間活動や外来生物の影響等による野生動植物の生息・生育環境の悪化を防ぎ、本県の豊かな生物多様性を確保するとともに、人間の働きかけの減少により荒廃が生じている里地・里山の生態系の維持・再生を図ること等により、多様な生物と、良好な大気、水、土壌などが密接に関係しながら形成されてきた健全な生態系の保全と再生を図っていきます。

長期的な取組のイメージ



長期的な取組の方向性 (計画期間における施策の展開 ☞p53～54、58～61 ほか)

希少な野生動植物種の保護・回復の推進

- ・絶滅のおそれのある野生生物の県内における状況について、継続的に把握を進めます。
- ・希少野生動植物の種ごとの保護回復計画や、これに沿って保護団体等が策定する認定保護回復事業計画の策定を広く行うとともに、これらの計画に基づいた活動を推進します。
- ・生物多様性に関する専門的な知識を有する人材の育成を進め、保護団体などの体制を充実させるとともに、種や地域ごとの取組をネットワーク化し、全県的な保護回復活動を促進します。

生物多様性保全の社会への浸透

- ・生物多様性の危機に関する一般の県民に対する啓発を行うとともに、保護団体等と連携して、その地域の生物多様性について学習する場づくりを進めます。
- ・希少野生動植物保護監視員をきめ細かく配置するなど、生態系の変化に対する的確なモニタリングを行うとともに、関係者が広く情報を共有する体制の構築に努めます。

生態系を支える循環の確保

- ・豊かな生物を育む生態系を保全する観点から、各種の保護地域制度を活用して、重要な地域における自然環境の保全のための取組の強化を図ります。
- ・高度な水源かん養機能を発揮すべき森林に対する公的な手法による間伐等の推進、遊休農地の再生活用・多面的な利用、雨水を地下浸透させる貯留設備の普及などにより県内全域で地下水のかん養を進め、豊かな生態系を支える健全な水循環の確保を図ります。
- ・様々なバイオマスの利活用や、高い炭素固定機能を有する森林の整備等を進め、自然界における物質の適正な循環の維持、増進を図ります。

生態系をかく乱する要因への対応

- ・外来生物による生態系への影響について広くデータを収集・分析し、種ごとに効果的な防除策を検討・実施するとともに、外来生物の適切な取扱いに関する普及啓発を行います。
- ・環境保全研究所において化学物質のリスク評価を国と連携して進めるとともに、生活に影響を及ぼすリスクの高い物質については、データベース化を進め、県民への正確で分かりやすい情報の提供に努めます。

里地・里山生態系の維持・再生

- ・森林所有者を含む地域住民と森林づくりに関心を持つ人々との協働による里山の森林整備を支援するなど、都市の住民等が容易に里山の保全活動に参加できるシステムの構築を図ります。
- ・中山間地域における遊休農地の発生防止・解消、農業生産活動促進等に対する支援や、信州伝統野菜、林産物等の地域資源の活用、観光や医療等と連携した新たな森林関連産業創出などを進め、持続可能な農林業の営みと調和した里地・里山生態系の維持・保全を図ります。

生態系ネットワークの形成

- ・原生的な自然を核として、生物の生息・生育地を有機的につなぎ、個体群の交流を促進して種や遺伝的な多様性を保全するとともに、外部との影響を緩和する緩衝地域を適切に配置した「生態系ネットワーク」の形成を図ります。
- ・多様な生物の生息・生育の場として重要な地域が、生態系ネットワークの核として効果的に機能するよう、保護地域の指定や見直しを行うとともに、生態系のタイプに応じた保護管理の充実を図ります。